

TOPPAN

株主通信 Vol.80

December 2016

第171期 第2四半期

平成28年4月1日から平成28年9月30日まで



Meet Japan!

この写真は、高品質4K (Printeractive 4K) から画像を切り出しています。

CONTENTS

2 株主の皆さまへ
4 第2四半期 業績の概況
5 第2四半期 セグメント別概況
7 第2四半期 連結財務諸表の要旨
9 インフォメーション
10 トピックス
12 ピックアップニュース
14 株式情報
15 会社概要



■表紙の写真：「Meet Japan!」より冬の風景
トッパンでは国際観光推進や地域活性化を目的に、自社の映像クリエイターが撮影した日本各地の美しい風景等のトッパンオリジナル高品質4K映像「Meet Japan!」プロジェクトを展開しています。今号はその中から冬の風景を切り出した画像をセレクトしました。

「Meet Japan!」より表紙の映像をぜひ「AReader」でご覧ください。

スマートフォンなどを使って、「App Store」「Google playストア」でアプリ「AReader」を検索ダウンロード（無料）。「AReader」を起動し、右記のARマーカールにかざすと表紙の冬の風景の映像が流れます。

ARマーカールにスマートフォンをかざしてみると…



株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第171期第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）のトッパングループの業績概況につきまして、ご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、個人消費や企業収益の改善に足踏みが見られるなど、一部に弱さが見られたものの、全体としては緩やかな回復基調が続きました。海外経済は米国の景気回復が続く一方、中国をはじめとするアジア新興国経済の減速や英国のEU離脱問題などにより不確実性が高まっており、急激な円高・株安の進行も相まって、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しています。

印刷業界におきましては、インターネット広告を中心に企業の広告宣伝費は拡大した一方、出版市場は依然として縮小傾向にあります。ペーパーメディア需要の伸び悩みに加え、異業種・異業態の新規参入が相次ぎ、全体を通じては厳しい経営環境となりました。

このような環境のなかでトッパングループは、21世紀の企業像と事業領域を定めた「TOPPAN VISION 21」に基づき、「グループを含めた構造改革の遂行」、「新事業・新市場の創出」、「グローバルな事業展開の加速」を重

要な経営課題と位置付け、グループ一体となって収益体制の強化に取り組んでまいりました。新たな収益モデルを早期確立すべく、既存事業においては競争優位性の確立とコスト削減を推進し、新規事業においては成長分野に対して積極的に経営資源を投入してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期に比べ4.1%減の6,910億円となりました。また、営業利益は2.5%増の145億円となり、経常利益は13.7%減の136億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は35.8%増の111億円となりました。

中間配当金につきましては、1株当たり10円とさせていただきます。年間では20円の配当を予定しています。

経営環境が厳しいなか、変化を的確に捉え、グループにある経営資源を有効に活かしながら、今後も持続的な企業価値向上に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

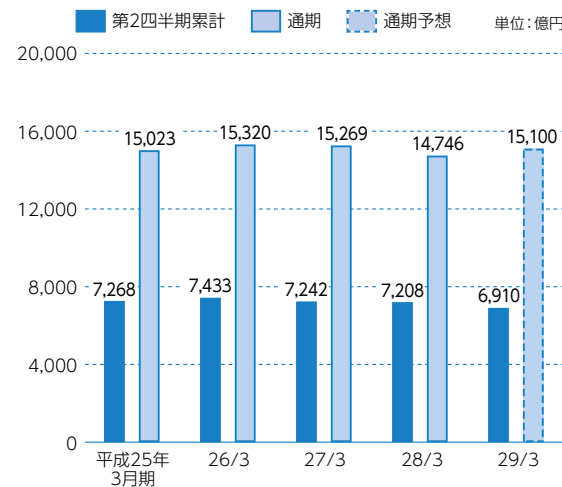
平成28年12月

代表取締役社長

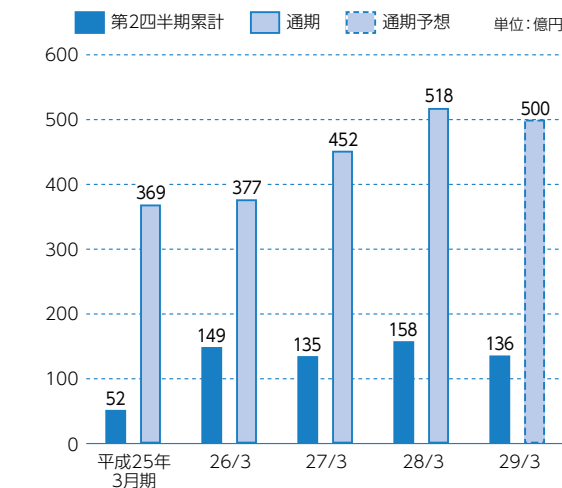
金子真吾

第2四半期 業績の概況

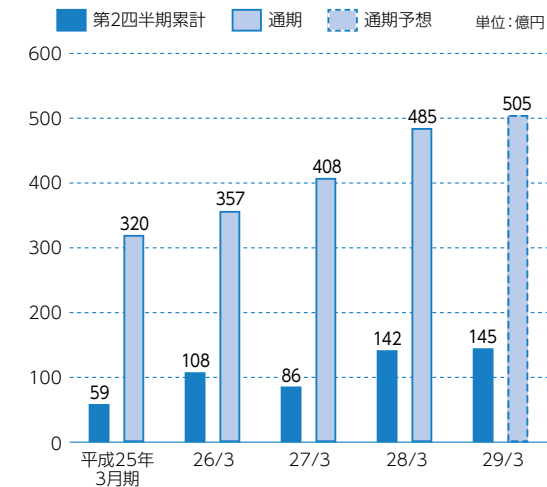
売上高



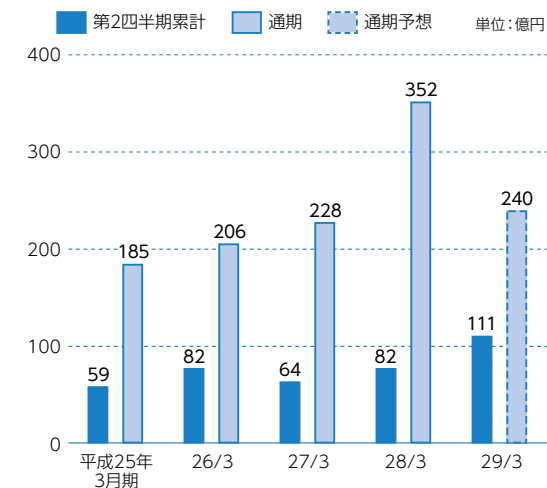
經常利益



営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益

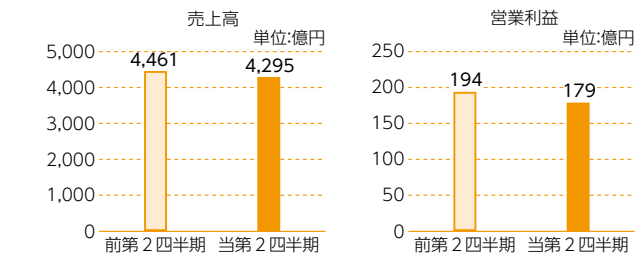


第2四半期 セグメント別概況

	売上高	対前年同期比	営業利益	対前年同期比
情報コミュニケーション事業分野	4,295 億円	3.7% 減	179 億円	7.3% 減
生活・産業事業分野	2,026 億円	1.0% 減	99 億円	64.3% 増
エレクトロニクス事業分野	699 億円	16.6% 減	15 億円	40.0% 減
調整額	▲111 億円	－	▲149 億円	－
合計	6,910 億円	4.1% 減	145 億円	2.5% 増

情報コミュニケーション事業分野

- セキュア関連では、ICカードが好調に推移したほか、高い安全管理体制を活かして金融業界向けのBPO(ビジネスプロセスアウトソーシング)などが増加しました。
- ビジネスフォーム関連では、ビジネスフォームは、電子化に伴う需要量の減少などにより前年を下回りました。データ・プリント・サービスは、企業の経費削減に伴う価格下落や大型案件の縮小などの影響を受け、前年を下回りました。
- マーケティング関連では、チラシやパンフ・カタログなどが減少するなか、企画力を活かしたお客さまへの課題解決提案により、SP関連ツールが増加したほか、豊富な実績、ノウハウの活用により業務受託ビジネスが順調に推移しました。当社は「旅道」プロジェクトとして、観光立国の実現に向け訪日外国人目線で旅の質と利便性を向上させる取り組みを拡大しています。その一環として、VR(バーチャルリアリティ)の活用により、現存しない史跡を高精彩



かつ色鮮やかに再現するストリートミュージアムや、ヘッドマウントディスプレイを使用した文化財の鑑賞など、新たなサービスを提供しました。また、国内最大級の電子チラシサービス「Shufool(シュフー)」は、ユーザーの位置情報(現在地)に合わせて、店舗がタイムリーに誘客するためのコンテンツを配信できる電子手配りサービス「ココチ」をリリースするなど、流通企業のニーズに応えるサービスの拡充とメディア価値の向上に取り組みました。

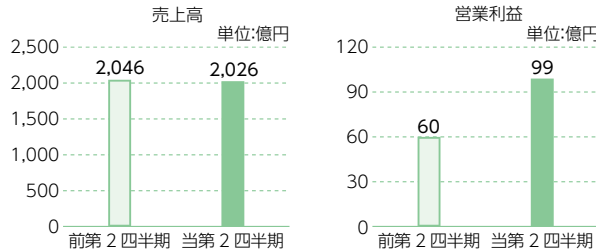
●コンテンツ関連では、出版印刷物は国内外の雑誌の休廃刊や頁減などの影響により、前年を下回りました。株式会社BookLive!は、小説投稿サービスによるオリジナルコンテンツの拡充や、会員登録不要の無料マンガアプリの提供など、多様なユーザーのニーズにあった電子書籍の楽しみ方の実現に向け、サービスを展開しました。



情報コミュニケーション分野の製品例

生活・産業事業分野

- パッケージ関連では、軟包装材は、透明バリアフィルム「GL BARRIER」や使用済みPETボトルを再生素材として使用したメカニカルリサイクルPETフィルムの包装材などが増加し、前年を上回りました。また、海外初の透明バリアフィルムの生産拠点となるToppan USA, Inc. ジョージア工場は、平成28年4月に竣工して以降、順調に立ち上がっております。医療・医薬向け包装材は、群馬センター工場の高度な品質管理体制やクリーンな生産環境の活用などにより、堅調に推移しました。紙製飲料缶「カートカン」



が順調に推移しましたが、紙器は前年を下回りました。

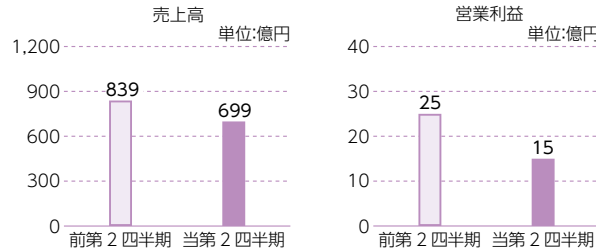
- 建材関連では、国内は化粧シート「101エコシート」や不燃アルミ製品「フォルティナ」などのオリジナル商材を中心に増加しましたが、海外は減少しました。また、意匠性のみならず高い耐傷性、耐汚染性を有する世界最高水準の表面性能を実現した化粧シート「Smart NANO(スマートナノ)」シリーズは、6月のプレスリリース以降市場より高い評価を受けております。



生活・産業事業分野の製品例

エレクトロニクス事業分野

- ディスプレイ関連では、カラーフィルタは、中小型サイズが堅調に推移したものの大型サイズは減少し、前年を下回りました。反射防止フィルムは、お客さまのニーズに合わせた製品開発により、順調に拡大しました。TFT液晶パネルは、車載向けは堅調に推移したものの産業機器向けが減少し、前年を下回りました。
- 半導体関連では、フォトマスクは、半導体市場が低調に推



移するなか、前年を下回りました。高密度半導体パッケージ基板のFC-BGA基板は、海外向けを中心に減少しました。

- エレクトロニクス事業分野の主要品種においては、成長市場の需要を取り込むための体制整備を進める一方で、成熟化が進む事業の再構築を行うことにより、収益基盤の強化を図りました。



エレクトロニクス事業分野の製品例

第2四半期 連結財務諸表の要旨

連結貸借対照表

(単位: 百万円)

資産の部	前連結会計年度	当第2四半期連結会計期間
	(平成28年3月31日現在)	(平成28年9月30日現在)
流動資産	852,207	881,749
現金及び預金	230,288	260,179
受取手形及び売掛金	390,855	350,568
有価証券	111,843	147,109
商品及び製品	34,632	33,688
仕掛品	30,944	33,840
原材料及び貯蔵品	19,154	19,602
その他	37,979	39,642
貸倒引当金	△3,491	△2,883
固定資産	1,024,367	1,011,002
有形固定資産	537,977	518,168
建物及び構築物	239,191	232,756
機械装置及び運搬具	119,594	111,145
土地	139,854	138,420
建設仮勘定	26,930	24,438
その他	12,406	11,407
無形固定資産	27,441	24,958
その他	27,441	24,958
投資その他の資産	458,948	467,875
投資有価証券	372,948	389,874
その他	87,607	79,551
貸倒引当金	△1,607	△1,550
資産合計	1,876,574	1,892,751

(単位: 百万円)

負債の部	前連結会計年度	当第2四半期連結会計期間
	(平成28年3月31日現在)	(平成28年9月30日現在)
流動負債	462,105	440,567
支払手形及び買掛金	271,663	254,879
短期借入金	15,336	13,962
1年内返済予定の長期借入金	17,390	16,832
1年内償還予定の新株予約権付社債	40,044	40,011
未払法人税等	12,446	12,200
賞与引当金	17,854	18,255
その他の引当金	1,736	3,197
その他	85,632	81,228
固定負債	347,617	382,488
社債	90,000	120,000
新株予約権付社債	40,150	40,000
長期借入金	78,189	79,564
退職給付に係る負債	55,020	56,503
その他の引当金	1,934	1,550
その他	82,321	84,869
負債合計	809,722	823,055

純資産の部	前連結会計年度	当第2四半期連結会計期間
	(平成28年3月31日現在)	(平成28年9月30日現在)
株主資本	788,397	793,816
資本金	104,986	104,986
資本剰余金	117,743	117,776
利益剰余金	623,049	628,467
自己株式	△57,381	△57,414
その他の包括利益累計額	145,803	145,285
その他有価証券評価差額金	138,536	151,650
繰延ヘッジ損益	△288	△346
為替換算調整勘定	4,935	△8,580
退職給付に係る調整累計額	2,621	2,561
非支配株主持分	132,650	130,593
純資産合計	1,066,851	1,069,696
負債純資産合計	1,876,574	1,892,751

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

■連結損益計算書

(単位：百万円)		
	前第2四半期 連結累計期間 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	当第2四半期 連結累計期間 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)
売上高	720,864	691,034
売上原価	599,256	567,350
売上総利益	121,607	123,684
販売費及び一般管理費	107,374	109,093
営業利益	14,233	14,590
営業外収益	7,257	6,830
受取利息及び配当金	4,088	4,137
持分法による投資利益	1,522	1,346
その他	1,646	1,345
営業外費用	5,684	7,771
支払利息	1,584	1,103
為替差損	786	3,085
解体撤去費用	870	1,841
その他	2,442	1,740
経常利益	15,807	13,649
特別利益	6,400	17,502
固定資産売却益	4,431	58
投資有価証券売却益	941	16,422
関係会社株式売却益	4	941
退職給付信託設定益	1,022	－
その他	－	79
特別損失	7,314	4,867
固定資産除売却損	526	767
投資有価証券評価損	17	60
投資有価証券売却損	11	4
減損損失	1,199	2,133
関係会社特別退職金	1,363	1,359
災害による損失	－	541
関係会社株式売却損	3,995	－
関係会社整理損	117	－
その他	82	－
税金等調整前四半期純利益	14,892	26,284
法人税、住民税及び事業税	5,617	10,931
法人税等調整額	△392	△2,222
四半期純利益	9,667	17,574
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,461	6,427
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,206	11,146

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

■連結包括利益計算書

(単位：百万円)		
	前第2四半期 連結累計期間 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	当第2四半期 連結累計期間 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)
四半期純利益	9,667	17,574
その他の包括利益	△8,213	△5,825
その他有価証券評価差額金	△10,099	8,857
繰延ヘッジ損益	△28	△57
為替換算調整勘定	1,835	△14,377
退職給付に係る調整額	417	△139
持分法適用会社に対する持分相当額	△339	△109
四半期包括利益	1,454	11,748

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)		
	前第2四半期 連結累計期間 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	当第2四半期 連結累計期間 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	42,948	51,423
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,801	△21,440
財務活動によるキャッシュ・フロー	△58,862	23,583
現金及び現金同等物に係る換算差額	924	△5,555
現金及び現金同等物の増減額	△48,790	48,009
現金及び現金同等物の期首残高	335,911	292,676
現金及び現金同等物の四半期末残高	287,120	340,686

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

1 株当たり株主配当金（中間期）

10円（年間20円予定）

中間配当金につきましては、1株につき10円とし、年間では20円の配当を予定しています。

インフォメーション

印刷博物館、来館者50万人
～2000年10月開館以来、16年で到達～

当社が創立100周年を記念して2000年に設立した、文化施設の印刷博物館（トッパン小石川ビル）は、2016年9月6日に、累計来館者が50万人になりました。

50万人目にお迎えしたお客さまは、この日初めて印刷博物館を訪れたというお二人で、「50万人目ということで驚きましたが、たいへんうれしいです。歴史が好きで、徳川家康の駿河版銅活字に興味を持ちました」と感想を述べられました。

樺山紘一館長は「50万人目のお客さまをお迎えすることができ、感無量です。外国人の方を含め、遠方よりお客さまが来られることは、大変うれしい限りです。歴史がお好きな女性が当館の50万人目のお客さまとなられ、こういうめぐりあわせがあるのかと驚いてもあります。今後も情報発信を行い、お客さまに喜んでいただく博物館活動が続けていくことの大切さを学ばせていただきました」と挨拶しました。

お二人には、印刷博物館から記念品が贈呈されました。



記念品の贈呈（左より金子社長、樺山館長、50万人目のお客さま、足立会長）

株主優待カレンダーについて

当社では、2016年3月末の時点で1単元株（1,000株）以上をお持ちの方で、お申し込みをされた株主の皆さまへ、株主優待カレンダーを進呈しています。今回は小倉遊亀画伯の名作で構成したカレンダーをお届けいたします。カレンダーは、12月上旬頃までにお手元に届くように発送の予定です。12月中旬を過ぎても届かない場合には、下記の電話番号までお問い合わせください。なお、土・日・祝日および年末年始（12/29～1/3）は電話受付をお休みとさせていただきます。

電話番号：048-483-8500

受付期間：2017年1月31日（火）まで

受付時間：9:00～17:30（月～金）

※土・日・祝日および年末年始（12/29～1/3）は除く



2017年版株主優待カレンダー

「HOUSE VISION 2 2016 TOKYO EXHIBITION」に初出展 未来の生活空間を考える「木目の家」を展示

トッパンは、7月30日(土)～8月28日(日)に臨海副都心地区で開催された「HOUSE VISION 2 2016 TOKYO EXHIBITION」に出展しました。

この展示会は、2013年に第1回が開催され、2回目となる今回は「CO-DIVIDUAL 分かれてつながる 離れてあつまる」をテーマに、企業と建築家・クリエイターが13の展示ハウスによって少子高齢化や都市と地域の関係など、現代の課題に対するソリューションとして、「未来の家」の可能性を提示しました。

トッパンは、デザイナー・原研哉氏(日本デザインセンター 原デザイン研究所)とコラボレーションし、未来の生活空間を考える「木目の家」を展示しました。

この家の外装には、檜の原木を角材に加工し、その木目を20倍に拡大印刷した化粧シートを使用しています。一方、内装には微細な濃淡表現を可能にしたグ



「木目の家」

ラビア印刷技術、リアルな手触りまでも精密に「印刷」する新技術「質感コート」などを駆使し、木材以上の緻密さと安定性を実現しました。

内部には機能性材料やセンサー技術など、トッパンのさまざまな「印刷テクノロジー」を活用しました。椅子に座るだけで健康情報を読み取ったり、音声やLEDで情報を伝えたり、透明・不透明を瞬時に切り替えられるフィルムを貼ったガラスでプライバシーを守るなど、「環境を印刷する」をコンセプトに、住む人と五感で交感する生活空間の新しい形を提案しました。

トッパンが目指す事業展開

今回トッパンが挑戦したのは、次世代の生活空間をデザインする新製品・新サービスの可能性を探ることでした。

今後は、「木目の家」の成果をふまえ、印刷テクノロジーを活用した「街づくり」の実現に向け、事業展開を強化していきます。



「木目の家」内部 透明・不透明を瞬時に切り替えられる調光フィルムを展示

「包む技術で未来をひらく」をテーマに 「TOKYO PACK 2016 –2016東京国際包装展–」に出展

トッパンは、10月4日(火)～7日(金)に東京ビッグサイト東ホールで開催された「TOKYO PACK 2016 –2016東京国際包装展–」に出展しました。

この展示会は、包装資材・容器、包装機械を中心とした国内最大の国際総合包装展です。26回目となる今回は「伝えよう、NIPPONの包装力を」というテーマのもと、国内外の包装関連企業・団体が一堂に会しました。

当社の今回の展示では「包む技術で未来をひらく」をテーマに、トッパンが長年にわたり培ってきた「印刷テクノロジー」のもと、最新のテクノロジーとそれらが実現するパッケージの新たな可能性・解決策を、サステナブル、ロジスティック、ヘルスケアなどといった社会課題別に提案しました。

サステナブルに対するソリューションでは、環境負荷軽減に寄与する環境素材を使用したパッケージ商品などを紹介。特に、トッパンオリジナルの透明バリアフィル

ム「GL FILM」に、メカニカルリサイクルPET(リサイクル樹脂を世界最高レベルの80%使用)を活用したレトルト対応のバリアフィルム「GL-AR-NF」は、リサイクル資源の活用が重要視されるなか、多くの来場者が関心を示されました。

ロジスティックやヘルスケアにおいても、通販市場における配送コスト軽減を実現する緩衝機能付きフィルム封筒「グッドクッションフィルム」や、患者や高齢者の見守りケア、睡眠・ストレスチェックなどの未病・健康増進などをサポートする「シート型非接触振動センサー」などといった新しい製品、サービスを紹介しました。

今後、ますます変化が加速する社会環境において、トッパンはお客さまとともに、さまざまな課題を解決するため、新たな製品・サービスの開発・提供に取り組んでいきます。



トッパンの出展ブース



さらに詳しい情報は、当社ウェブサイトのニュースリリースのページをご参照ください。
URL: <http://www.toppan.co.jp/>

第63回カンヌライオンズ
国際クリエイティビティ・フェス
ティバルでブロンズ受賞

当社の企画した脳神経疾患の理解促進のためのツール「Connect Pen & Notebook」(ツナゲルペンとツナゲルノート)が、世界で最も権威のある国際広告賞「第63回カンヌライオンズ国際クリエイティビティ・フェスティバル」のライオンズヘルスファーマ部門でブロンズを受賞しました。同時にヘルス&ウェルネス部門とカンヌライオンズデザイン部門でも入選しました。

本ツールは、脳神経疾患の啓発を目的として制作され、導電性のあるインクを使用することで利用者が疾患、脳の伝達不調に対する理解を深めるようデザインされています。

機能性インクという「印刷テクノロジー」の活用と啓発メッセージ、デザイン等のクリエイティブにおける総合力が評価されました。

(2016年8月24日発表)



ファーマ部門ブロンズトロフィーと「Connect Pen & Notebook」(ツナゲルペンとツナゲルノート)

電子チラシサービス「Shufoo!」、
LINEユーザーにも情報配信

当社は、国内最大級の電子チラシサービス「Shufoo! (シュフー)」において、LINE株式会社(以下、LINE)とSMEパートナー※1として業務提携しました。LINEが運営するコミュニケーションアプリ「LINE」のユーザーへ情報配信ができるサービス「LINE@」※2と連携し、小売流通企業のチラシをはじめとした買い物情報を配信可能となりました。

この仕組みを利用することにより、「Shufoo!」のメインユーザーである買い物意欲の高い20～40代主婦層に加え、特定の店舗に興味のある幅広い年代層の「LINE」ユーザーにも、買い物情報を届けることができ、情報のリーチが格段に広がります。

(2016年10月19日発表)



※1 SMEパートナー：LINEが、店舗向けWebサービスを提供している事業者とのサービス連携や提携店舗への導入促進を優先的に協力して行っていくプログラム。

※2 LINE@：利用店舗数約21万店(自社調べ、2016年3月末時点)が利用するユーザーとコミュニケーションが取れるサービス。

東京2020オリンピック・パラリン
ピック競技大会オフィシャルパー
トナー(印刷サービス)に決定

当社は、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と「東京2020スポンサーシッププログラム」における「東京2020オフィシャルパートナー(印刷サービス)」の契約を締結しました。

1964年の東京オリンピック競技大会における公式ポスターの印刷、1988年のソウルオリンピック競技大会で週刊誌用の高精細カラー印刷原稿に関するサービス、2004年のアテネオリンピック・パラリンピック競技大会では身分証明書の製造など、当社は、これまでオリンピック・パラリンピック競技大会の運営に貢献してきました。東京2020大会においては、オフィシャルパートナーとして、高セキュリティな偽造防止印刷技術による安心・安全なサービスで、東京2020大会の成功に貢献していきます。

(2016年10月31日発表)



TOPPAN



東京2020オフィシャルパートナー(印刷サービス)

SCIVAXとナノインプリント事業で
資本業務提携

当社は、急速にニーズが増加しているナノインプリント事業の拡大を目的として、同技術の開発で世界で唯一成功を収めているSCIVAX株式会社の株式を2016年11月に25%超取得しました。本資本業務提携により、両社の技術を融合し、世界初となる大面積ナノインプリント量産技術の確立と、さまざまな分野への応用展開で事業拡大を推進します。

(2016年11月1日発表)

次世代型農業ビジネスを手がける
福井和郷と資本業務提携

当社は、IoTや機能性包材、トレーサビリティなどのノウハウを活用し、次世代型農業ビジネスに参入します。これに先立ち、次世代型農業ビジネスを手がける株式会社福井和郷と2016年8月に資本業務提携契約を締結しました。「印刷テクノロジー」を活用した新たな製品やサービスを開発・提供することで、農業のさらなる産業化・活性化に向け、貢献していきます。

(2016年11月7日発表)

※ニュースの内容は発表時のものです。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

8月

ピックアップ

第63回カンヌライオンズ
国際クリエイティビティ・フェスティバルでブロンズ受賞

9月

インフォメーション

印刷博物館、来館者50万人
～2000年10月開館以来、16年で到達～

10月

ピックアップ

電子チラシサービス「Shufoo!」、
LINEユーザーにも情報配信

11月

ピックアップ

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会
オフィシャルパートナー(印刷サービス)に決定

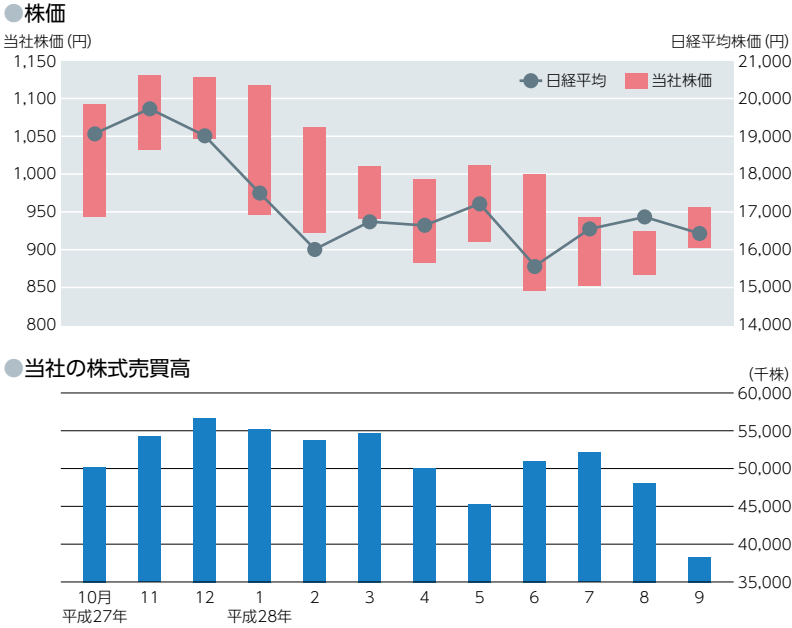
ピックアップ

SCIVAXとナノインプリント事業で資本業務提携

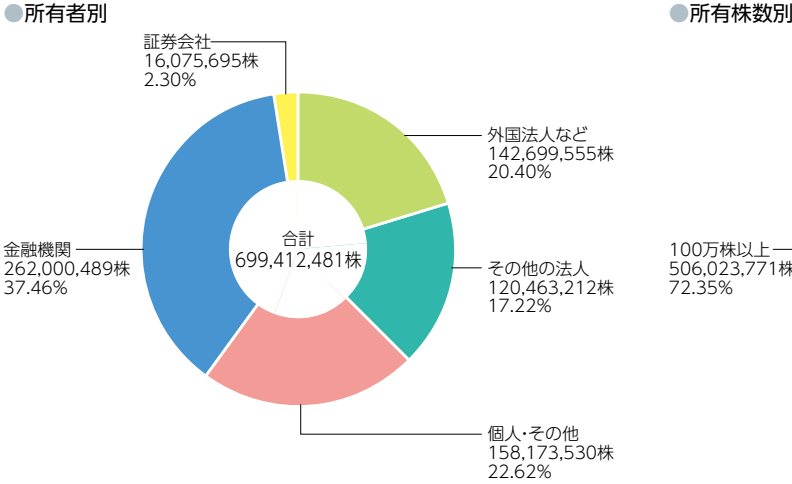
ピックアップ

次世代型農業ビジネスを手がける
福井和郷と資本業務提携

■株価および売買高の推移



■株式分布状況



※自己株式55,003千株は、「所有者別」は「個人・その他」に、「所有株数別」は「100万株以上」に含まれております。

■会社概要

- 社名
- 凸版印刷株式会社
- 本社事務所
- 〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1番地
- 電話:03-3835-5111 (代表)
- URL:http://www.toppan.co.jp/
- 会社設立
- 明治33年1月17日
- 株式会社に組織変更
- 明治41年6月4日
- 資本金
- 104,986,430,314円

■事業所

- 本社および事業(本)部
- 本店／本社事務所／情報コミュニケーション事業本部／
- 生活・産業事業本部／エレクトロニクス事業本部／西日本事業本部／
- 中部事業部／東日本事業本部
- 研究所
- 総合研究所
- 工場
- 札幌、仙台、群馬、川口、深谷、朝霞、坂戸、幸手、嵐山、板橋、相模原、新潟、三ヶ日、富山、名古屋、三重、松阪、滋賀、伊丹、滝野、福岡、福岡、熊本など
- ※上記工場には、当社の主要な製造子会社を含んでおります。
- 営業所
- 帯広、札幌、函館、青森、盛岡、仙台、秋田、山形、郡山、水戸、宇都宮、高崎、さいたま、千葉、東京、横浜、新潟、金沢、長野、松本、静岡、浜松、名古屋、松阪、京都、大阪、和歌山、神戸、松江、岡山、福山、広島、周南、高松、松山、高知、北九州、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、那覇
- 海外(現地法人含む)
- ニューヨーク、サンタクララ、ラウンドロック、デュッセルドルフ、アテネ、シンガポール、北京、上海、香港、台北、バンコク、ジャカルタ、ブルガオンなど

■取締役および監査役

代表取締役会長	足立直樹	常務取締役	佐藤暢晃
代表取締役社長	金子真吾	常務取締役	伊沢太郎
取締役副社長	降矢祥博	社外取締役	佐久間国雄
取締役副社長	長山芳幸	社外取締役	野間省伸
専務取締役	前田幸夫	社外取締役	遠山亮子
専務取締役	大久保伸一	取締役	江崎純生
専務取締役	垣谷英孝	取締役	山野泰彦
専務取締役	伊東厚	取締役	植木哲朗
専務取締役	新井誠	常任監査役	高宮城實明
専務取締役	磨秀晴	監査役	田上静之
専務取締役	松田直行	社外監査役	野村修也
		社外監査役	重松博之
		社外監査役	垣内恵子

■上席執行役員

小谷友一郎	岩瀬浩	山中紀夫	中尾光宏
佐藤友治	坂井和則	野口晴彦	斉藤昌典

■執行役員

萩原恒昭	好川英郎	伊藤貞典	深田克彦
小佐見茂	鬼塚信行	鎌仲宏治	大谷智
吉本晋二	池田隆夫	小町千治	奥山卓二
穴水芳光	山中欣也	真島宏徳	

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主確定基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日／中間配当を行う場合 9月30日 その他必要ある場合は、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711(フリーダイヤル)
1単元の株式の数	1,000株
公告の方法	電子公告により当社ホームページ(http://www.toppan.co.jp/)に掲載いたします。 なお、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、官報に掲載いたします。
上場金融商品取引所	東京証券取引所
証券コード	7911

株主優待カレンダー発送に関するお問い合わせ

受付期間 2017年1月31日(火)まで
受付時間 9:00～17:30(月～金)
※土・日・祝日および年末年始(12/29～1/3)は除く

TEL:048-483-8500

〈ご注意〉
1. 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
〈ご案内〉
1. 平成26年以降の上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率について 平成26年1月1日以降に個人の株主様が支払いを受ける、上場株式等の配当等には、原則として20.315%の源泉徴収税率が適用されます。 ※所得税15%、復興特別所得税0.315%、住民税5% なお、株主様によっては、本ご案内の内容が当てはまらない可能性もあります。詳細につきましては、最寄の税務署、税理士等にご相談ください。
2. 少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受取りについて 新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「株式比例配分方式」をお選びいただく必要があります。ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問合せください。

凸版印刷株式会社

本店 〒110-8560 東京都台東区台東一丁目5番1号
本社事務所 〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1番地
TEL:03-3835-5111(代表)

URL: <http://www.toppan.co.jp/>



CO₂の「見える化」
カーボンフットプリント
1冊あたり
<http://www.cfp-japan.jp>
CR-B505-16003



トッパングループの
(株)オルタステクノロジーが削減した
J-VERクレジットを用いて
ライフサイクル全体の
カーボン・オフセットしました。